# JAPANブランドに乗る

# カナディアン・トップライダーたち

2013年のTOYOTAビッグエアで優勝を果たしたアントワンヌ・トゥル ション (CAN) に続き、2人目のカナディアン・ライダーとして、20歳 のアップカマーのマックス・エバーハートがJAPANブランドの代表 格でもあるYONEXのボードを選び、乗っているという。なぜ、今勢 いのあるスタイリッシュで超クールなライディングスタイルを持つ カナディアンライダー2人が!? その理由を探ってみた。

マックス・エバーハート

Q: ホームタウンはどんなところ?

M.E(MAX EBERHARDT): カナダのオンタリオ州、

ノースベイが地元だよ。スゴく気に入ってる。自分がリ

ラックスできる唯一の場所だね。外遊びが好きなら最高

の場所だし、湖も超キレイ!地元に居る時は大体仲間とス

ケートしたり、なんかオモシロい事探したりしてるね。冬

のノースベイは大体チョー寒い。あまりにも寒すぎて学

校が休みになったこともあったよ。そんな時はいつも仲

間と滑りに行ってたけどね。家族も親友もみんなそこに

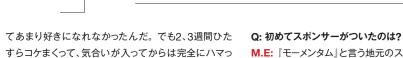
M.E: ホームマウンテンは、自分の家の裏にある林の中

住んでるから、地元に居る時が一番好きな時間!

Q: スノーボードを始めたきっかけを教えて?

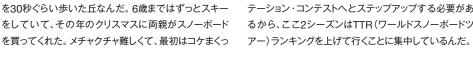
## MAX EBERHARDT

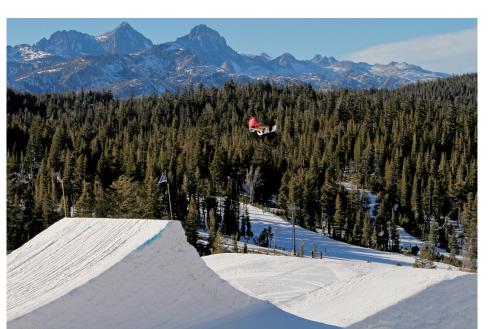
## 難しいトリックも、 リラックスしてクリーンにメイクする スタイルが好きなんだ



## Q: 何歳ぐらいから大会に出始めたの?

M.E: 11歳の時からローカルコンテストやジャムセッ ションに出始めた。ローカルコンテストで勝ち始めたら、 もっと大きなレールジャムやスロープスタイルに出場す るために、遠くのスキー場へと両親が連れて行ってくれ るようになったんだ。オンタリオ周辺のコンテストを2、 3年回って、そのあと『CANADIAN OPFN』や『RIDE SHAKEDOWN』などの大きな大会に出場するように なった。最終的には国内のコンテストから国外のインビ テーション・コンテストへとステップアップする必要があ るから、ここ2シーズンはTTR(ワールドスノーボードツ







マックスは1994年生まれの20歳、今年4月にカナダでおこなわれた5starTTRワールドスノーボードツアーイベント 「THE SHRED SHOW! のビッグエアで、世界のトップが勢揃いする中で優勝、さらに8月末にオーストラリアでおこ なわれた「THE MILE HIGH」のスロープスタイルでも2位に入るなど、急進撃を見せている。

M.E: 『モーメンタム』と言う地元のスノーボードショップ が初めてのスポンサーだね。毎年シーズンの終わりにな るとパーク・ジャムコンテストを開催してるんだけど、あ る年のジャムでボクがかなりブっ飛んだことをしたみた いなんだよね(540だったか、720かな?)。何日か後に オーナーのダン・ラージから「興味があったらチームに 入らないか?」って電話があったんだ。たしか13歳の頃 だったと思う。メチャクチャ嬉しかったよ! ほら、例えば誰 かに「どこかのライダーかい?」なんて質問されたら、思 いっきり「Yeahhhhhhh!!!」って答えてやれるなんて最

#### Q: これまでどんな活動をしてきたの? ムービーとかは?

M.E: シーズンごとのライディングをまとめるぐらいで、 ガッツリとムービーを撮ったことはまだ無いよ。もしもそ のチャンスがあればゼッタイ撮ってもらいたいね。何度も トライしてメイクしたトリックを映像に納めて、それを自 分で観るなんて最高だろうな。今はコンテストに集中し てるからほとんどパークしか滑らないけど、何でもこなせ るオールラウンドなスノーボーダーを目指してる。

#### Q: どんなスタイルのライディングが好き?

M.E: どんなトリックだろうとイージーに、しかも力を抜 いた感じでラクに、そしてクリーンにメイクするスタイル が好きだね。ノルウェー人のスタイルが大好きだよ。ノル ウェースタイル最高!(笑)

#### Q: 自分がリスペクトするライダーは?

M.E: ハーフパイプ、レール、ジャンプでヤバいスノー ボーダーはみんなリスペクトしてるよ。自分がハーフパイ プでビビらなければもっといいんだろうけど。

#### Q: 当面の自分の活動の目標は?

M.E: 今はとにかく練習して自分を伸ばすこと、そして コンテストで自分の名前を表に出すこと。フィルム・プロ ジェクトに参加するのも一つの目標だね。出来る限り多く のキャリアを積むことがゴールさ。



# MAX EBERHARDT ANTOINE TRUCHON

### Q: YONEXのボードに乗るようになったいきさつは?

A.T (ANTOINE TRUCHON): YONEXとは1年前が 初めての出会い。コーチのマックス・ヘナールトにすすめ られて、最初はなんとなく試してみたけど、乗った瞬間か ら「これはいい!」って思ったんだ。その後、「ライダーに なってみない?って誘われたんだ。最初はチョット戸惑っ たけど、世界で最高の板を作るブランドだって思ったし、 すぐにOKしたよ。

M.E: 僕も最初はコーチのマックスがYONEXのことを 教えてくれた。昨年アントワンヌがチームに加入したこと もあって、コーチからもサンプルを何本か試してみるチャ ンスをもらったんだ。そうしたらもの凄く調子が良くて 驚いたんだよ。去年のシーズン後、コーチのマックスが YONEXのチームマネージャーに「ライダーを探してい ないか?」って連絡してくれたんだ。ボクもコンテストでい い成績を残していたから、彼は喜んでチームに引き入れ てくれた。今期からチームの1人になれて超嬉しいよ!

### Q: 実際にYONEXボードの乗り心地はどう?

A.T: クオリティーも乗り味も最高! ハードにライディング すればするほど、本当に安定する板なんだよね。頑丈で Q:マックスとアントワンヌとは一緒に滑ったりするの?

#### 何をやっても壊れなそう!

M.E: YONEXの板は最高。乗っててメチャクチャ楽しい し、今まであんなに軽い板に乗ったことは無いよ。足の 下には何もないかのように感じたからビックリだね。本当 に軽いから、レールに飛び乗るのがスゴく楽になった。調

## けど、これを選んだ理由は?

A.T: とりあえず名前が好きだよ!それにキャンバーベー スである所も選んだ理由のひとつ。初めて乗った時も自 分のライディングにピッタリのフレックスだし、コイツを 選んで良かったと思うよ!

M.E: 『STYLE』は最高のオールラウンドボードだよ。 この前の春に試乗して、速攻気に入ったんだ。キャン バーってところも自分にピッタリ! まるでスケートボード のように操作性に優れていて、なおかつエッジが効いて いるとこがいい。それにあのマジで目立つベース・グラ フィックがお気に入り!

M.E: モチロン! レールもジャンプもガンガン攻めるアン トワンヌと滑るのはチョー楽しいよ! 彼はメチャクチャ面 白くてジョークばかりいつも言い合ってる、そんな最高 のバイブスをくれるヤツだよ。

**A.T:** チャンスがあればゼッタイー緒に滑るよ。 今はオー ストラリアで滑りながら生活も共にしているし、シーズン 後半になればTTRツアーやトリップでまた一緒になるか Q: 2人とも 『STYLE』というモデルに乗っているようだ らそのチャンスはイッパイあるよ。それに、僕とは違うス タイルを持っているし、彼のライディングを見ているだけ で新しいアイデアが産まれてくるよ。お陰で難しいトリッ クもメイク出来るようになったんだ。

### Q: 今シーズンもさらに活躍できそうだね?

M.E: YONEXチームに入れてとてもワクワクしている んだ。自分でもスゴくバイブスが上がってるよ。シーズン インを迎えるのが待ち遠しいよ

A.T: YONEXは僕をただ1人のライダーとしてじゃなく、 チーム全員の1人としても他のライダーと同等に扱って くれる。いいファミリーと共にシーズンを迎えるのが楽し みだよ。